

2018/04/09(月)09:44

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
25879	情報科学演習	Exercise in Information Science	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2018年度 前期	月曜3限	講義および演習	今野 英明
科目区分	<p>専攻科目 (国際協働グループ) 異なる国や民族・地域・文化・社会をつなぐ国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域政策グループ) 地方行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域環境科学グループ) 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけ、さらに、新たな知識・技能を主体的に学び続けようとする態度、探究力、批判的な思考力などを身につけることを目的とする。</p>		
授業概要	UNIX 上でファイルに格納されたテキスト形式のデータの扱いに親しむことから始め、構造を持つテキストデータの扱い方を学ぶ。さらに、データベースシステムの必要性を理解し、関係データベースシステムの基礎となる考え方とデータベース操作の実際を学ぶ。		
対応するディプロマ・ポリシー			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コマンドを用いてファイルの処理を効率よくできるようになること。 2. XML の概要を知り、XML 文書に対する簡単な処理ができること。 3. データベースシステムとは何であるかを知り、SQL 言語によるデータベース操作ができるようになること。 		
授業計画	<p>受講生の理解や習熟の度合いによって授業計画を変更する可能性がある。</p> <p>第1週: 授業内容の紹介・UNIX の基本操作 第2週: ファイルとディレクトリ操作 第3週: 文字列のマッチングと検索 第4週: レコードとフィールドの操作 第5週: XML の基礎 第6週: XML 文書の操作 (1) 第7週: XML 文書の操作 (2) 第8週: 試験 第9週: データベースの基礎概念 第10週: SQL と問い合わせの基礎 第11週: 表の結合 第12週: 演算子・関数と表のグループ化 第13週: 表の定義とデータ更新 第14週: データベースの設計 第15週: 試験</p>		
成績評価	2 回の試験の成績の平均点により評価する。4 割以上の平均点を合格とする。欠席は 3 回まで。診断書のある病欠、冠婚葬祭、他の授業に係わるやむを得ない欠席は、申し出により、欠席回数に含めない。クラブ活動の遠征等による欠席届けは受理しない。		
教職チェックリスト	<p>学習指導力</p> <p>それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域（科目）で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を発達段階・学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。・専門領域（科目）で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域（科目）の様々な事象に対する関心や意欲を育む。・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。・研究についての基本的事項を身につけ、研究の成果を発表する。</p>		
テキスト	授業資料をWebで提供する。		

参考文献	<p>ブルース・ブリン, 入門UNIXシェルプログラミング 改訂第2版, ソフトバンククリエイティブ (2003) 増永良文, データベース入門, サイエンス社 (2006) 速水治夫 他, データベース, オーム社 (2002) C.J.Date, データベースシステム概論, 丸善 (1997) 日本ユニテックWeb技術研究グループ, はじめて読むXML, アスキー (2005) 松下 温 監修, 基礎Web技術, オーム社 (2003) W3C Consortium Homepage, http://www.w3.org/ 奥野 幹也, 理論から学ぶデータベース実践入門 ~リレーショナルモデルによる効率的なSQL, 技術評論社 (2015)</p>
オフィス・アワー	月曜日・5時限・研究室
関連する授業科目	コンピュータプログラミング, 情報通信ネットワーク
備考 (履修上の注意等)	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は国際地域学科の「情報科学演習」と人間地域科学課程の「データベース入門A」の同時開講である。 ・この授業では UNIX 上でコマンドやエディタ (Emacs, Vi など) を利用するため, 「コンピュータプログラミングI」あるいは「プログラミング入門」を履修済みであることが望ましい。これらを履修していない学生は予め授業担当者に申し出ること。 ・講義資料は全般に印刷して持参するのが望ましいが, 特に持参すべき回には別途指示する。 ・授業のホームページは http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/789/ である。